

会議名	第2回港区 SNS 事業支援業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和8年3月5日（木曜日）午後6時00分から6時45分まで
開催場所	港区役所4階会議室
委員	野上 宏 企画経営部長（委員長） 相川 留美子 企画経営部企画課長（副委員長） 石川 久美子 企画経営部政策広聴担当課長 大塚 浩子 産業地域振興支援部国際化・文化芸術担当課長 溝口 貴裕 教育委員会事務局学校教育部先端教育担当課長
事務局	企画経営部区長室
会議次第	1 開会 2 第一次選考結果について 3 第二次選考について 4 閉会
配付資料	[データ配付] 次第 資料1 第一次審査集計結果 資料2 第3回選考委員会進行スケジュール（案） 資料3 第二次審査の実施に関する留意事項（案） 資料4 第二次審査採点基準表（案） 参考資料1 募集要項（各様式を含む。） 参考資料2 選考基準 参考資料3 仕様書（案）
会議の内容	
事務局	【1 開会】～詳細省略～  【2 第一次選考結果について】～詳細省略～ （事務局より資料1について説明）
事務局	事務局採点項目について、該当様式に不備等があったものは採点不能として、0点としています。
委員長	評価したポイントなど、各委員から順番に講評をお願いします。応募者数が11社と多いため、講評は上位数者に絞っての講評としてもよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。

委員長	<p>それでは順番に講評をお願いします。</p>
委員Ⅰ	<p>私は A、F、G の順で評価しました。  A 社は、資料が分かりやすく、精細も良かったので提案に熱量を感じました。戦略性も明確に描かれており、コンテンツのデザインも親しみやすいです。F 社は、一見地味で文字だらけですが、提案内容をよく読むとかなり具体的に分かりやすいです。コンテンツも写真をうまく使っていて見やすく、クリエイティブは目を惹きました。G 社は、追加提案部分を評価しました。</p>
委員Ⅱ	<p>私は A、C、D の順番で評価しました。  A 社は、端的に分かりやすいです。C 社は、従業員 4 名で実施体制は弱いと思いましたが、課題設定や提案については地元企業ならではの視点も意識されていて良いです。分析も 4 つの指標を基に具体的な課題と改善提案を提示できていました。他は全体的に薄いものの良くもなければ悪くもない。実績が悪くなく、業務体制も悪くない印象です。G 社は、追加提案が課金前提なのかと思いましたが、見積もりを見るとこの部分は含まれていました。ただ、共同企業体の割に体制が薄く、兼務が多くて緊急時の対応が可能か懸念がありました。</p>
委員Ⅲ	<p>私は A、G、J の順で評価しました。  A 社は、行政や広報の細かいことについてよく理解されていました。業務体制やスケジュールもすごく現実的で安心できます。G 社は、具体的な提案で感度が高そう。分析も細かく、改善案も良いです。J 社は、アンケート機能を投稿の際に活用するという提案を高く評価しました。ただ、あまりにも作りすぎていて訴求力が少ないかもしれません。</p>
委員Ⅳ	<p>私は A、G、C、E の順で評価しました。  A 社は、港区の今までの SNS の歩みを分析して、今までの投稿を活かしつつ、より良さを伸長する分析的な提案ができています。姿勢も含めて評価が高い。C 社は、行政のやり方をよく分かっている。拡散だけでなく、保存率の向上を確認して計画やコンテンツが練られています。人員体制が脆弱なので、災害時や緊急時にパッと対応してもらえるか不安があるので、プレゼンで確認したいです。E 社は、分析や改善、そもそも SNS とはどのようなものかを抑えていました。G 社は、通常投稿の記載が薄く、オプションが素晴らしいのはよく分かりましたが、不安な点もあり評価を落としています。</p>
委員Ⅴ	<p>私は A、C、G の順で評価しました。</p>

	<p>C社は、体制管理に問題があるかと思いましたが資料をしっかりと作っており、分析されているのが良かったです。G社は、インフルエンサーを起用することについて、他の自治体でネガティブな評判となった事例も記憶しているため、懸念点としています。</p>
事務局	<p>各委員の採点において、3段階以上の開きがあった事業者についてもあらためて講評をお願いします。まずはF社からお願いします。</p>
委員 I	<p>業務理解と提案の具体性はしっかり書き込まれていました。1400人の大きな会社で体制も問題ありません。投稿の戦略性も書かれており、コンテンツのクリエイティブも良い。数値に基づいた改善提案も細かいですが、よく見ると分析等は改善の余地があるため、採点を一部下方修正します。</p>
委員 II	<p>様式9について、パッと見た瞬間によく読まない和理解ができないのはいかがかと思いました。逆に、様式8の投稿コンテンツについては、評価を上方修正します。</p>
委員 III	<p>年間計画は具体的ですが、内容が薄い印象です。改善提案についてももう少しビジュアルで示してほしいです。</p>
委員 IV	<p>しっかり読み込まないとわからず、クリエイティブの背景や文字の視認性が気になりました。改善提案も数値の羅列にとどまり、どう生かされるのが見えませんでした。</p>
委員 V	<p>見積書を見ると、細かいことが何も書いてありませんでした。スケジュールも実現可能性が判断できず低評価としています。</p>
事務局	<p>続いて先ほどG社について触れていない委員については、G社について講評をお願いします。</p>
委員 I	<p>コンテンツが背景色と文字の色が埋没して視認性が悪いと感じました。また数値に基づいた改善策は数字の羅列に留まっており、これがどうコンテンツに活かされているか見えませんでした。</p>
委員 II	<p>追加提案が多くそこを懸念点と評価しました。しかし追加提案についても見積の範囲内で行うことが確認できましたので、その部分については上方修正します。</p>

委員長	A社 883点、C社 811点、G社 739点となりました。 一次審査の評価点数については、この点数で決定してよいか。
委員	(異議なし)
委員長	二次選考に進むのはこの上位3事業者とします。
事務局	【3 第二次選考について】 (事務局より資料2～4について説明)
委員長	共通質問は設けず、各委員が一次評価で不明に思った点を質問してもらえば と考えます。また、二次審査のスケジュール・方法については、事務局案の 通りといたしたいと思えますかいかがでしょうか。
委員	(異議なし)
	【4 閉会】